



# ながい

# 市議会だより

2008・2 vol.80



## 西山の大自然に育まれた 確かな伝統と文化が息づく里 『西根児童センター』

新しい年になり、今日は地域の伝統的な風習“だんご下げ”の日です。今年一年の「豊作」「健康」「火ぶせ」を祈りみんな一生懸命に折り紙で宝船や鶴、扇などを作りました。

「良い年でありますよ～に！」

の  
すびの  
すくすび  
すく

## おもな内容

	ページ
年頭にあたって .....	2
12月定例会の動き .....	3
一般質問 .....	4～6
予算特別委員会 .....	7～8
常任委員会の焦点 .....	9
討論・意見書 .....	10
ながいの元気印 .....	11
議会だよりを読んで .....	12

# 新年明けましておめでとうございます

公職選挙法は、議員や政治家が選挙区内の住民に対し年賀状を出すことを禁じています。  
(答礼や自筆を除く) 法を遵守し、誌面により年賀のご挨拶とさせていただきます。

長井市議会

## 年頭にあたって

議長 佐々木謙二  
副議長 町田 義昭

市民の皆様には、希望に満ちる新春をお迎えのことと、謹んでお喜び申し上げます。

昨年は例年になく降雪量が少なく過ぎやすい冬となり、財政運営の厳しい長井市には天の恵みとなりましたが、一方、全国各地で集中豪雨の被害や動植物の生態系の変化等が報告されています。

このようなことが地球温暖化の影響だとすれば、喜んでよいのか疑問を感じます。そうした中で今年は主要国首脳会議(北海道洞爺湖サミット)が予定され、環境問題・地球温暖化対策が話し合われると言われています。次世代や後世に悔いの残らない地球環境対策を願うものです。

長井市議会は、人口減少・少子高齢社会を迎え、将来のまちの在り方や次世代を見据えた望ましいまちの将来像を模索し、活発な提案と建設的な議論を深め、夢と希望のもてる元気な長井市を目指すことが大切なことと心得ます。市民の皆様の一層のご指導・ご鞭撻をお願い申し上げます。

### 厚生常任委員会



町田 義昭 安部 隆  
大沼 久 蒲生 光男 谷口 栄子 蒲生 吉夫

### 総務・文教常任委員会



竹田 博一 大道寺 信  
橋 孝夫 渋谷 佐輔 我妻 昇 鈴木 良雄

### 産業・建設常任委員会



鈴木 新助 小関 勝助  
佐々木 謙二 藤原 民夫 鈴木 悟司 鈴木 武次  
委員長 副委員長



# 12月定例会

平成19年12月定例会は、12月4日から12月21日まで18日間の日程で開催されました。

定例会では、一般議案8件、補正予算案6件、請願6件が提案され全議案を可決しました。また、最終日に追加提案された議案は、福祉灯油助成事業を計上した補正予算案1件、人権擁護委員推薦のための人事案1件、意見書提出のための議案案6件ですが、いずれも可決しました。

以下その概要についてお知らせします。

## 補正予算案を可決

本定例会には、1億770万2000円を追加した一般会計補正予算案が提案されました。

主な歳出内容として、国の人事院勧告を準拠する形で計上された一般職員の給与722万7000円、年度当初の人件費独自削減計画を半分しか達成出来なかったことで2322万6000円、見込み違いによる退職手当負担金2332万1000円など、人件費総額で8293万8000円もの増額補正となりました。

また、社会福祉費の児童福祉費で認可保育所運営費負担金1047万4000円、生活保護医療扶助費で2360

万円の増額となり、一方、衛生費では、浄化槽事業特別会計繰出111万4000円、一般廃棄物等収集運搬業務委託料110万円の減額など合計で286万4000円の減額となりました。

採決の結果、一般会計、特別会計ともに可決しました。

この中で大きく賛否が分かれたのは、一般議案「一般職の職員の給与に関する条例

の一部改正」と連動した一般職員の給与増です。

### 職員給与改正条例委員会では否決するも本会議では可決!

職員給与条例改正案は、人事院勧告に準拠して初任給を中心に若年層の給料月額を引き上げ、子等に係る扶養手当や期末・勤勉手当も引き上げる内容で、年度当初の19年4月1日にさかのぼって支給されるものです。

付託された総務・文教常任委員会では、なぜ今なのか、非常事態の財政状況の折、実施時期を先延ばしすべきではないか、市民から理解が得られないなどの反対意見と、公務員は団体交渉権が制限されているので人事院勧告を尊重するのは正当である、県内に先駆けて行った職員給与の独自削減により、県内自治体で最低ランクの賃金となっている、財政が悪くなればまた給与削減という繰り返しはやめなければならないなどの

賛成意見が出された結果、賛成少数で否決となりました。

しかし、本会議では、今回の給与改定は民間事業所においても参考にするとところもあり、まちづくりの観点から市民にも納得を得られるという意見があり、賛成10、反対7で可決しました。

### 緊急対策! 「福祉灯油助成事業」を決定

現在、社会問題となっている原油の高騰は、我々の生活に大きな打撃を与えています。特に、雪国で寒さを耐えて生きていく手段である「灯油」の値上がりは一層深刻な問題です。そこで議会最終日に提案されたのが原油高騰緊急対策支援事業費457万6000円の補正予算案で、全員一致で可決しました。

高齢者世帯、障がい者世帯、母子世帯、生活保護世帯など1140世帯が対象となり1世帯4000円の助成となります。

### 指定管理者制度 第1号は「文教の杜」に

一般議案の「文教の杜ながい」設置条例の一部改正は、指定管理者制度のもと、丸大扇屋・彫塑館・小桜館などの施設を、単に民間に業務委託するのではなく、総合的な管理運営を委任するためのもので、賛成多数で可決しました。

この制度は、これまで行政が管理してきた「公の施設」を、民間事業者やNPO法人などに管理運営させることができるというもので、長井市では第1号となります。

## 人事

### 人権擁護委員の推薦に同意

禪 徳雄さん  
(上伊佐沢1876番地)

平成20年3月31日をもって任期満了となる同氏を再び推薦するため提案されたもので、全員一致で同意しました。

一般質問



鈴木 悟司 議員

農村環境保全と地域農業の振興策は

答弁 地域農業の活性化を期待

Q. 農地・水・環境保全向上対策の中で、環境に優しい営農活動への支援があるわけですが、説明会が11月になってからありました。既に20年度の要望期限が過ぎており、21年度に対する説明会でした。米価が下落している中で、なぜこのような対応になったのか農林課長に伺います。

A. 営農活動支援の取り組みは、環境保全型農業推進のため、急でしたが各組織へ要望調査を行い、20年度は歌丸地区分の要望を県に提出しています。取り組み方針の変更にあたり説明不足の点をお詫びします。

Q. 構造改革特別区域参入により、特定法人が参入されましたが、地域内の雇用、農業の活性化と地域経済の振興、長井市のまちづくりへの参加を基本とするとありました。農地の管理状況や、地域農業における役割分担の取り組み事項について農業委員会会長に伺います。

A. 農地の管理上、大きな問題点はなく、作業等の地元雇用もあります。設立3年目であり、今後、担い手育成への貢献など、周辺に及ぼす影響が、良い効果を生むような形で経営されるよう期待しております。

Q. 平成21年度に予定されている「下九野本地区経営体育成基盤整備事業」は、担い手の経営体を強化・育成する重要事業です。財政が厳しい中ですが、ぜひ推進していただきたいと思えます。

下流域での市街地の排水路整備計画がないということですが、今後の対応について建設課長に伺います。

A. 市内の水路整備は、線路や道路横断など支障箇所が多く整備が遅れています。改修には費用や期間が多くなるため、下流に多量な流入がないよう上流での解決が必要です。



蒲生 光男 議員

がん対策の現状は

答弁 受診勧奨を進め受診率の向上を図ります

Q. 東北高校駅伝大会が長井市で開催され、東北各地から予選を勝ち抜いた各県代表男子27チーム、女子30チームが熱戦を繰り広げ、詰めかけた多くの駅伝ファンの熱い応援の中無事終了しました。

次年度は、大船渡市での開催が決定しているとのことですが、長井市は県内唯一のフルマラソンやトライアスロン大会を開催しており、今後隔年開催をめざし、駅伝長井を定着させられないか伺います。

A. 大会には、男子27チーム、女子30チームが参加して素晴らしい走りを見せてくれました。コース沿いでは、大勢の皆さんがランナーに対して声援を送ってくださいました。

コースについても、大会関係者から高い評価をいただきましたので、再来年度の大会開催を強くお願いしました。

Q. 19年4月1日より、「がん対策基本法」が施行されま

した。年間の死亡原因でも、30万人、3割を超える人達のがんで死亡しています。2人に1人ががんにかかる時代、がん対策のための特に予防推進にもっと力を注ぐべきだと思います。

国は、死亡率の減少が期待できる五つのがん(胃・大腸・子宮・肺・乳)の検診について、検査内容、対象年齢、受診間隔などについて市町村に実施指針を示しています。長井市におけるがん検診の実施状況、予算などについて伺います。

A. がん検診については、世帯毎に申し込みをとり、春から、各地区公民館・保健センター・南陽検診センターを会場にしております。受け忘れの方には受診勧奨をしておりませんが、受診率はいずれも3割程度で、全国平均より低い状況です。予算については、歳出総額4400万円です。

議会の動き

10月

- 1日 置広議会管内施設行政視察(置広議員) 議会だより編集委員会
- 3日~5日 議会運営委員会行政視察(北海道栗山町、三笠市)
- 9日 西置議会運営委員会、本会議(西置議員)
- 10日 最上川流域調査飛行(議長:各常任委員長、ダム特委員長) 議会だより編集委員会
- 10日~12日 革新クラブ行政視察(京都府木津川市、三重県伊賀市)
- 15日 置病議会運営委員会、全員協議会(置病議員)



東北高校駅伝 勢い良くスタート!!

一般質問



高橋 孝夫 議員

20年度予算編成通達には無理があるのでは  
持続可能な行政体構築と  
財政運営の確保が課題

Q. 20年度予算編成は、前年度の混乱を繰り返さず、将来に展望が持て、財政再建が見える形で展開ができるものに仕上げたいと思います。  
しかし、予算編成についての通達では、①義務的経費を前年度対比で5%縮減する、②その他の経費で前年度対比20%縮減、という指示をしています。毎年のように前年度対比で縮減を図るといふ指示に対して、各課では対応できるものなのかどうか、私は疑問を感じます。毎年連続しての経費の縮減策には限界があるのではないですか。  
反面、投資的経費は、事業総額を7億円程度として事業調整を行うとし、その根拠に「財政の中期展望」に計上されていることを挙げていますが、これはこの間の財政危機の原因を「中期展望での収支の乖離にある」とする当局の考え方は相反します。「聖域なき歳出削減」を求めるの

であれば、投資的経費にもメスを入れることが求められているのではないですか。

A. 行財政運営上の喫緊の課題は、持続可能な行政体の構築と財政運営の確保にあります。

20年度予算編成は、集中改革プランでの歳入確保、歳出削減を着実に実施することと選択と集中による歳出削減を図りたいと考えています。

諸経費の20%縮減には限界があり、他の編成手法等や国が示す標準的な行政サービスと本市のサービスの対比と検討も必要と考えています。

縮小だけでは決してよくありませんし、公債費負担適正化計画で認められた額で経済波及効果の大きい事業等を行いつつ、これ以上極端に落ち込まないよう維持してまいりたいと考えています。



蒲生 吉夫 議員

古代の丘を  
調査研究の拠点に  
地元の皆様の  
献身的な努力に感謝

Q. 北は白兔西から寺泉地区上郷まで、37箇所及び縄文遺跡発掘調査が行われました。縄文村周辺は、こういった歴史的背景の上に築かれ、西山山麓の自然をそのまま活かした公園で、「県民の森」にも匹敵する市民の財産です。手入れの状態をどう見えていますか。

A. 古代の丘に参りまして感じるの、非常に管理が行き届いているということ。地元の皆様方の献身的な努力の賜と感謝いたしております。

Q. 古代の丘資料館、長者屋敷遺跡の管理を一本化し、資料館を総合案内所にする計画のようですが、古代の丘資料館を埋蔵文化財などの発掘調査・資料整理などの拠点施設と位置づけ、文化生涯学習課の一部職場を配置すべきだと思いますがどうですか。

A. 文化系の職員を常駐させることは難しいが、係全体の業務分担を見直し、職員が資料館に机を置いて仕事ができる

ないか検討したいと思えます。

Q. 梨の木平の竪穴式縄文キヤンプ場を廃止する方向ですが、五棟の復元住居が周辺の空間とマッチしているからこそ生きてきます。全部ではなくとも、費用も含め関係団体と協議の上、残し、管理する方向で検討したいと思えますがどうですか。

A. 復元住居に関し、管理運営協議会等と検討を進め、長者屋敷の方を残し、梨の木平の方は、傷みの激しいものから順次取壊すこととしました。

Q. 長井まちづくり基金予算を決定するときのイメージと今年の基金交付判定表では差異があると思えます。ファンドでないといけないハード事業をすべきと思えますがどうですか。

A. 同基金は、まちづくり活動等の三分野に助成するものです。歴史的建造物等のハード事業に対する利用は、今後、大いに期待するものです。



- 16日 議会だより編集委員会
- 18日 厚生常任委員会
- 行政視察（大分県中津市、佐賀県唐津市）
- 17日 置賜総合支庁長へ山形鉄道支援に対する意見書提出（議長）
- 19日 会派代表者会、全員協議会
- 22日 置病議会運営委員会、本会議（置病議員）
- 23日 山形県知事並びに県議会議長へ山形鉄道支援に対する意見書提出（議長）
- 3日、25日 産業・建設常任委員会行政視察（鳥取県境港市、島根県大田市）
- 26日 長井市・白鷹町・飯豊町議会議員意見交換会
- 28日 長井市総合防災訓練議長、致芳地区議員）
- 31日 議会運営委員会協議会

一般質問



大道寺 信 議員

答弁

聖域なき痛みとの整合性はあるのか

人勸実施は、独自削減や県内最低クラスの実態を考慮

Q. 11月30日発行の「広報ながい」の「市長とティープレイク」において、20年度の予算編成は「現時点では約5億円の財源不足が想定され、前年度に比べて歳出を一律20%減額せざるをえない事態になつてしまいました。まさに聖域なき痛みの伴う予算編成となりま

A. 人事院勧告による給与等の改正は、若年層を中心とした改定であることや、県内の状況、本市職員のラスパイレ

Q. 清水町浄配水場の更新事業について、長井商工会議所より、「公共事業の減少による厳しい企業環境にあることから、長井市で実施する大型公共事業に技術的に対応できる事業については、地元企業を指名するよう配慮してほしい」旨を柱とする要望書が出

A. 浄配水場の更新事業は、総額10億円の大事業で、地元経済を潤す意味でも地元業者で施工できないか検討しまし

請願

採択

牛海綿状脳症(BSE)全頭検査に対する全額補助継続を求める意見書を政府等に提出することを求める件

後期高齢者医療制度の抜本的見直しを求める請願について

(請願者 山形県社会保障推進協議会会長高木紘一)

後期高齢者医療制度の抜本的見直しに関する意見書提出方請願

ラスパイレ指数とは、国家公務員に対する地方公務員の給与水準を示す指数です。

児童扶養手当制度の充実に関する意見書提出方請願

地方交付税の確保・充実に関する意見書提出方請願

法人税・所得税及び証券税制見直しに関する意見書提出方請願



全国ブランドの米沢牛

11月

- 5日 置広議会運営委員会、第1・3委員会(置広議員)
7日 ダム特委員会
9日 置広議会全員協議会(置広議員)
12日 置賜地域行政懇談会(議長)
13日 山形県市議会議長会定期総会(副議長)
15日 置広議会定例会(置広議員)
19日 長井市教育懇談会(総務・文教委員)
20日 本会議(臨時会)
21日 山形県市議会議長会議会報研修会(議会だより編集委員)
22日 総務・文教委員会協議会、厚生委員会協議会、産業・建設委員会協議会
26日 西置賜地区市町議会連絡協議会正副議長会議(正副議長)
30日 議会運営委員会、全員協議会、会派代表者会、山形県後期高齢者医療広域連合議会(議長)

# 予算特別 委員会

## 総括質疑

### 福祉灯油を実施すべき

蒲生光男委員 これから本格的な冬を迎える季節に入りますが、原油高の影響で灯油価格が2004年の3倍となり、1リットル100円に届こうとしています。

特に、高齢者世帯や障がい者が同居する世帯など、生活弱者に対する福祉灯油を実施する自治体が広がりをみせています。長井市においても灯油購入の補助を行い、生活弱者の支援を実施すべきです。内谷重治市長 長井市でも福祉灯油を実施すべく検討中で、県内の自治体の状況を調べながら、どういう形で救済するのが適正か、それを判断して実施したいと考えております。委員 新庄市では、灯油は昨

年度に比べて1リットル当たり20円ほど値上がりしており、このうち10円を支給するよう、値上がりした半分を助成する内容になっています。専決処分で実施したいとする市長の意向を議会は了承したようですが。

市長 長井市でも専決処分を実施したいと思いません。支援する内容と対象者を決めて年度内実施を目指したいと思えます。

### 地元業者を指名すらしなかつたのはなぜか

我妻昇委員 清水町浄配水場の更新事業は、総額10億円を超える大規模な工事であり、長井市の地域経済を潤す数少ない事業だったにもかかわらず、その入札に地元業者を指名すらしなかつたのはなぜですか。

内谷重治市長 当初は地元業者者に発注すべく検討していましたが、Aランクに属するのは3社のみであることや大地震にも耐えうる特殊な技術を要することを踏まえ、県に

相談しました。

その結果、工事実績や確かな技術を重視する独自の指名審査基準を作成し業者選定を行いました。

委員 独自に基準を作ったのですから、地元業者が参加できるとは配慮ができたのではないですか。

市長 ライフラインの最たるものが水道です。もしもの事故は絶対避けなければなりません。地元はできるだけ使いたい、しかし、地元だけ特別扱いで他は厳しくするというような二重の基準はあつてはならないと思えます。

### 指定管理者制度の導入は慎重に

蒲生吉夫委員 現在、文教の杜の管理を財団法人に委託していますが、指定管理者制度を導入し、しかも非公募で同財団に管理していただくということですが、指定管理者の第1号から「公募」という大原則を外さなければならぬ制度導入は慎重にすべきでないですか。

那須宗一文化生涯学習課長

文教の杜の管理については、県の指導もあり、市が5千万円拠出し財団を設立し、平成5年から業務をお願いしていますが、運営の継続性も大事ですから、非公募で当財団にお願いしていくのが良いと考えます。

委員 市の債務負担行為の償還の中で、特別養護老人ホーム慈光園建設資金元利償還金があります。当時は、措置という制度の中で運営されていましたが、介護保険制度になつてから事業所は自前で建設しています。債務は市が返済義務がありますが、今の市の財政状況から実施主体の福祉法人にお願いできるのではないですか。

内谷重治市長 平成19年度も3千万円を超える金額を約定に従って払っていますが、この金額は大きいので、先方に話をしながら協力いただけないものなのか検討したいと思えます。

## 12月

- 4日 本会議(開会)、会派代表者会、全員協議会
- 7日 本会議(一般質問)
- 10日 本会議(一般質問)
- 12日 総務・文教常任委員会
- 13日 厚生常任委員会
- 14日 産業・建設常任委員会
- 18日 予算特別委員会
- 21日 本会議(表決、閉会) 全員協議会
- 26日 (仮称)大塚秋生線県道昇格陳情(正副議長)
- 27日 議会運営委員会協議会、西置議会運営委員会、全員協議会、臨時会(西置議員)



更新される清水町浄配水場

### 「文教の杜」の指定管理者 制度導入と問題点

藤原民夫委員 古い歴史的な空間をそっくり生かしながら新しい未来を創造する施設として、「文教の杜」の設立と運営に期待した市民が、総額3900万円の基金を寄せました。その施設の運営管理のあり方についてお尋ねします。

この施設の管理を国の規制緩和策の法改正に沿って、設置主体を長井市から財団法人文教の杜へ管理委託する指定管理者制度を導入しようとしております。これを足がかりに、公民館や図書館、生涯プラザなど、市直営の施設にも指定管理者制度を適用する計画があるかどうかお聞きします。

大滝昌利教育長 突っ込んだ検討はしていませんが、計画的には、図書館・文化会館・生涯プラザ等も検討の対象にしていきたいと考えています。

委員 文教の杜の業務として  
①事業の企画や実施 ②使用許可、入場の制限 ③施設設

備の維持管理 ④市長が特に認める業務等があります。その企画、事業の中には、市の文化主幹なしには実現できない事業があると思いますが、那須宗一文化生涯学習課長文化主幹が収蔵品の管理・整理を行っており、財団と打合せしながら実施しています。

委員 市職員が委託先の労働者を指揮監督すれば、違法な労働者供給になるのではないですか。

文化生涯学習課長 偽装請負の指摘を受けた例を聞いたことがありませんので注意したいと思えます。

### 後期高齢者医療保険制度 システム入札は、不自然

高橋孝夫委員 後期高齢者医療保険制度システム構築入札は、当初5社が参加して行われ、事前に3社が辞退し、当日1社が辞退となり、残った1社のみで執行されました。その入札も不調となり、結果的に随意契約となったようです。通常では考えられない、極めて異常で不自然なもので

はありませんか。

新野潔副市長 これほど辞退が多くなると予想していませんでした。残念な結果だと思います。

委員 随意契約は、2社以上から見積書を徴しなければなりません。1回も競争なしで落札したことになり、入札の無効等を考えなかつたのですか。

副市長 止むを得なかつたと思えますし、業者間の連合による辞退とは考えていません。

委員 業者は、市の基幹システムも受注しています。その時も随意契約であり、この間1回も競争していないことになり。1年半後更新に向けどのように考えておられますか。

内容重治市長 今後は、契約更新の時に、基本から原点に戻って見直しをしなければいけないと決意しております。

### 平成19年度 長井市一般会計補正予算の主な内容

(単位：千円)

#### 【歳入】

児童福祉施設（認可保育園）運営費負担金（国）	11,557
生活保護措置費負担金（国）	17,700
児童福祉施設（認可保育園）運営費負担金（県）	5,780
山形県議会議員選挙委託金	9,484
前年度繰越金	80,135
有価物売却収入 その他	2,007

#### 【歳出】

一般職員手当等	70,318
山形県議会議員選挙費	9,484
長井市議会議員選挙費	3,070
長寿祝金	2,180
各認可保育園運営負担金	10,474
生活保護医療扶助費	23,600
一般廃棄物、空き缶紙回収、空き瓶収集業務委託料	1,750
原油高騰緊急対策支援事業	4,576

### 略字説明

- 置広⇨置賜広域行政事務組合
- 西置⇨西置賜行政組合
- 置病⇨置賜広域病院組合
- ダム特委員会⇨長井ダム環境整備促進特別委員会





## 総務 ・ 文教

「一般職の職員の給与に関する条例の一部改正」は、国家公務員の給与改定に準拠し改正を行うため提案されました。

改正は、19年4月1日に遡及して、初任給を中心に若年層に限定し給料月額を引き上げるとともに、子等に係る扶養手当を月額500円引き上

げ6500円に改め、期末・勤勉手当を0・05月分引き上げるもので、所要見込み総額は722万3000円です。

改正の理由として、長井市のラスパレス指数は県内最下位クラスであり、また、このたびの給与改定は若年層に限定したものであること、また、県内に先駆けて給与の独自削減を行っていることなども勘案し、勧告どおり実施したいとの説明を受けました。

委員からは、厳しい財政の折、補正額はどこから捻出するのか、「聖域なき痛み」という表現もされているが、整合性はとれないし、市民から理解を得られるものではないなどの反対意見、また、職員の給与は生活給であることを忘れてはならず、長井市の給与水準は県内の他自治体と比較すれば一目瞭然であり、勧告制度を尊重すべきとの賛成意見も出されました。

さらに、危機的な財政状況を脱出するには、議会の責任も非常に重いので、議員自らも報酬を削減し努力しなければならぬとの意見も出され

ました。  
採択の結果、賛成少数で否決されました。

「『文教の杜ながい』設置条例の一部改正」については、文教の杜ながいの利用拡大と普及啓蒙のため、一部の名称を見直すとともに、指定管理者制度を導入できるよう、必要な事項を定めるため提案されました。

委員からは、指定管理者制度導入により、どんなサービ



指定管理者制度が導入される「文教の杜」

なるのかとの質疑がなされ、民間の団体に担っていただいた方が、より裁量権を持った運営ができ、今後のまちづくりや観光という観点から、大いに市民に愛される施設になると思うとの答弁を受けました。

採択の結果、賛成多数で可決しました。

## 厚生

「後期高齢者医療に関する条例の設定について」は、平成20年4月1日から後期高齢者医療制度が施行されることにより、本市が行う事務に関し必要な事項を定めるために提案されました。

長井市から県内他市町村の病院等に住所を異動して入院した場合と、住所を異動しないで入院の場合はどこの被保険者になるのかとの質疑があり、県内一本の広域連合なので住所地特例は適用せず、前者は異動先の市町村の被保険

者に、後者は長井市の被保険者となるとの説明を受け、さらに、県外病院等に住所を異動して入院した場合と異動しないで入院した場合はとの質疑がなされ、どちらの場合でも長井市の被保険者となるとの答弁でした。

また、広域連合議会において葬祭費5万円と決定したが、本市国保の葬祭費7万円はこのままかとの質疑がなされ、葬祭費の額に差がでることは公平性に欠くと思うので、議会の意見を伺い、国保運営審議会に諮問しながら20年度に改正すべきと考えているとの答弁を受けました。

また、委員からは、独特の保険料の軽減措置について質疑があり、法令で決まっている7・5・2割軽減の部分は変えられないと思うが、災害等の場合に減免できる条項もあり、一定の理由が必要かと思うが、減免制度を設けることは可能だと思つとの答弁を受けました。

採択の結果、全員一致で可決しました。

# 討論

「一般職の職員の給与に関する条例の一部改正」に賛成

(蒲生吉夫議員)

このたびの給与改定は、人事院勧告による給与改定を実施するものです。

長井市は、独自に一職一級制を取り入れたこともあり、19年1月1日現在のラスパイルス指数は県内最下位であり、特に30歳までの落ち込みが激しく、人材確保の面からも改善しなければならぬと思います。このたびの給与条例改定は、直接影響を及ぼす西置賜行政組合ばかりでなく、逆に民間事業所においてもその後参考にするところがあり、まちづくり・地域づくりという観点からも、市民から理解が得られると考え賛成します。

「文教の杜ながい」設置条例の一部改正」に反対

(藤原民夫議員)

文教の杜の指定管理者の選定にあたって、市では一般公募を行わず、従来の委託先である財団法人文教の杜ながいを管理権限ごと指定管理者に指定するとしています。

従来の施設や設備の維持管理のほかに事業の企画や実施に関する業務も含まれていますが、これは有資格者である学芸員のみができるのであり、学芸員が配置されていない現在の文教の杜ながいの体制のままでは、違法な労働者供給つまり偽装請負、偽装委託となる疑いの強い管理体制とならざるを得ないと考えられるため反対します。

「平成19年度一般会計補正予算第5号」に反対

(我妻 昇議員)

現在、長井市の財政運営は非常に不安定で危機的な状況に陥っております。しかし、当初予算で市民に約束した職員給与の独自削減は半分しか達成することができず、本補正予算で2322万6千円の増額補正、また国の人事院勧告に準拠するという形で、給与・扶養手当・期末勤勉手当合わせて722万7千円の増額補正、さらには、退職手当特別負担金については職員のミスにより2332万1千円の増額補正となっております。私は、この3件の増額補正について、市民の皆様に対する明確な説明とその財源を示すこと、ミスについて謝罪することを求め反対します。

# 意見書

地方交付税の確保・充実を求める意見書

三位一体の改革により、平成19年度の地方交付税額は約15・2兆円で前年比0・7兆円の減となっております。その代替措置である臨時財政対策債についても、2・6兆円と対前年比0・3兆円の減となり、交付税が本来持つ財源調整機能の両機能が果たされなくなっております。そのため、地方の財政需要を的確に把握し、地方公共団体の安定的な財政運営に必要な地方交付税の総額確保を政府関係機関に求めます。

法人税・所得税及び証券税制見直しを求める意見書

景気回復の実感がない中で、税率減税が廃止され、政府はIT投資減税や研究開発減税などの政策減税、連結納税制度導入などや証券税制の軽減を行い、大企業や高額所得者に対する有利な税体系となつていくため、住民への負担増、社会保険などのサービス削減や公的責任の後退、地域間格差をもたらし結果となつています。早急に大企業や高額所得者への軽減を中止し、応能負担という原則に立ち戻るべきであり、法人税及び証券税制の見直しを政府関係機関に求めます。

政府は、平成20年4月から75才以上の高齢者を対象とした後期高齢者医療制度を実施しようとしています。これまで負担のなかつた高齢者から保険料を徴収するなど、一層の負担と診療報酬の引き下げにより、高齢者が受診できる医療が制限されるなど、国民皆保険制度を形骸化させ、国民の命と健康を大きく損なう可能性が有ります。高齢者が安心して医療を受けることができるよう、制度の抜本的な見直しを政府関係機関に求めます。

児童扶養手当制度の充実を求める意見書

多くの母子家庭において児童扶養手当は生活に欠かせないものになっていますが、2008年4月から、手当の額が最大で半額まで削減されるため不安が高まっています。法改正の前提となつていますが、母子家庭の就労支援が実を結ばない状況では手当の削減を行うべきでなく、児童扶養手当の弾力的な運用を図り、自立に向けた就労支援、雇用環境改善の一層の充実を政府関係機関に求めます。

牛海綿状脳症(BSE)全頭検査に対する全額補助継続を求める意見書

平成13年9月、国内で初めてBSEに感染した牛が確認され、畜産農家に大きな打撃を与えました。このため国は補助金をもつて全頭検査を実施してきましたが、その後、内閣府食品安全委員会からの答申を受け、検査対象を21カ月以上の牛にするにとともに、

自治体独自で全頭検査をする場合は、3年間の期間つきで費用の全額を補助していただき、しかし、この全頭検査に打ち切りになることから、消費者の不安の払拭と畜産業者の経営安定のため、補助制度の継続を政府関係機関に求めます。

道路整備の推進と道路特定財源諸税の暫定税率延長等に関する意見書

道路は、国民生活や社会経済活動を支える最も基礎的な施設であり、活力ある地域づくりなどを推進するためには、道路整備が一層重要なものとなっております。

国民の期待を踏まえた道路中間計画を作成し、道路特定財源諸税の暫定税率を10年間延長するとともに、道路特定財源を維持し、道路整備が安定的に実施されるよう政府関係機関に求めます。

一級河川の権限委譲に関する意見書

政府の地方分権改革推進委員会の中間的な取りまとめの案において、一級の都道府県内で完結する河川についてはすべて都道府県管轄とすべきである」とされていることは、国家レベルで整備がなされてきた防災力を低下されることにもなりかねないものです。国民の安全・安心を確保し、経済の安定を図るため、一級河川都道府県内で完結する同一川として責任を果たしていくよう政府関係機関に求めます。

# ながいの元氣印

## 平野サッカー スポーツ少年団

指導員 佐藤 正人

全力を出し切ってプレーをしないと味わえない「勝つことの喜び、負けることの悔しさ」を頭において一生懸命グラウンドを走り回り、楽しい汗をかきながら頑張っています。

メンバーは、平野の小学生を中心に1年生から6年生までの28名です。練習は週2〜3回。父母の方々と親子サッカーや、一昨年に寄付して頂いたキックターゲットを使いレクリエーション的な活動も行っています。

今年度は6年生が少ないながらも、みんなの頑張りでチームとしてうまく機能させてくれたことが指導者全員の喜びだと感じています。

市内には芝生のグラウンドがなく、保護者の方々のご理解で県内外への遠征や県大会出場により、数多く芝生の上でサッカーができたことは子供たちにとってすばらしい経験

ができたと思っております。

サッカーは一人の優秀な選手がいれば勝てるスポーツではありません。一人一人にポジションや役割がありチームワークやチームプレーが大切なスポーツだと思います。

これからも、サッカーを通してチームワークの大切さそして周りの御世話になっていく人への「感謝の気持ち」を指導しながら、楽しく厳しく子供たちと頑張っていきたいと思えます。

「奪えゴール」  
目指せ日本代表」



今回紹介するスポーツ少年団は「平野サッカー」、「西根ミニバスケットボール」です。両チームとも1年生〜6年生までの子供達が入団しており、低学年はスポーツの楽しさを、高学年になればチームワークの大切さと厳しさを学んでいます。指導者の方々が子供達に対してあたたかい思いやりの心で頑張っておられる姿が印象的でした。

## 西根ミニバスケットボール スポーツ少年団

指導員 赤間 重美

西根小学校区に「女子のスポ少を作りたい!」という、当時の学校の先生方3名が先頭に立ち、私が指導者としてお願いされ発足したスポ少です。

早いもので十数年の時が過ぎました。後に、男子のチームもでき、多い時には40名を超える団員で体育館が狭すぎて困った時期もありました。現在は長井市内全域に募集範囲を広げているのですが、年々団員が減少し、今年度は24名の団員と共に活動を行っています。

過去の成績としては、男子が西置賜地区大会にて4連覇・県大会出場。3年前には、新潟下越地区交歓大会に出場し、4戦中3勝を挙げる等、輝かしい成績も挙げています。バスケットスポ少は、5年前から連盟が置賜全域で統一となり、男女合わせて37チームが県大会出場の置賜代表を目指して

日々頑張っています。

「子供は地域の宝もの」すばらしい言葉です。教え子だった生徒が社会人になり、体育館に指導者として来てくれることもあり、大変嬉しく思います。そして、このサイクルが続くことを望みます。

これからも、バスケットボールの指導を通して「スポーツの楽しさ」、「チームワークの大事さ」を楽しみながらも、厳しく、体力のみならず、思いやりの心を持てる生徒になれるよう頑張っていきたいものです。スポーツを通して流した「汗」そして「涙」は絶対に無駄にはなりません。



# 議会だよりを読んで 市民の声

大町 後藤 文敏

市議会にそして市議会だよりに対する意見が欲しいとの依頼があり、市議会を一度も傍聴したこともなく、いささか一小市民として恐縮しとるところですが、一筆。

11月の市議会だよりを手にとる。名前は「市議会だより」なんだ。何か名前をつけたいのに。市民から公募でもして。最優秀の作品には米沢牛だった(笑)。何かと比べなければ意見なんてないだろうと思、ネットで近隣自治体の議会だよりをリサーチ。うむ、うむ。じゃついでに遠くの今流行りの宮崎県の某自治体も。ほう、ほう。長井の議会だより、なかなかいけてんじゃないの。他の自治体は議員の質問等のみの報告書的なつくりが断然多い。長井はスボ少の紹介あり、市民の意見の記事もあるぞ。工夫の跡が見られる

ぞ。これからも議会の視点から読者である市民への情報をわかりやすい表現で発信していただくことを切に願います。

一つだけ残念なのは、18名の議員がいらっしゃるわけですが、自分でホームページ等を持って議員活動を報告なさっている議員が3名しかいらつしやらないことです。この時代に、ある意味でこの数字は驚きでした。情報を伝える媒体がネットだけではないにしろ、日頃から市民に何を問いかけ、何を訴え、どういった声を聞いているかという議員各位の考えを常に発信していれば、今までの以上の議会活動に繋がるのではないのでしょうか。

議会の活性化と市民の皆様にご意見をお聞かせください。

## 3月議会の予定

(開会 は 午前 10 時)

- 2・26(火) 告示
  - 2・29(金) 議会運営委員会
  - 3・4(火) 本会議(開会)
  - 3・7(金) 一般質問
  - 3・10(月) 一般質問
  - 3・11(火) 一般質問
  - 3・12(水) 総務・文教常任委員会
  - 3・13(木) 厚生常任委員会
  - 3・14(金) 産業・建設常任委員会
  - 委員会
  - 3・17(月) 予算特別委員会
  - 3・19(水) 予算特別委員会
  - 3・21(金) 予算特別委員会
  - 3・24(月) 本会議
- ( 表決・閉会 )
- 正式な日程は、議会運営委員会で決定します。

**議会傍聴に  
お越しく下さい。**

議場入口で、氏名、住所を記入してお入りください。  
なお、議場へは庁舎東側階段をご利用ください。  
質問内容については市のホームページで事前にお知らせしています。

## 編集後記

「ひきずりうどん」が美味しく感じられるこの季節、皆さんはどんな鍋を囲んでいらつしやるでしょうか。厳しい冬だからこそ美味しくなるのが庄内の「どんがら汁」。身を切るような暴風と、恐ろしいばかりの荒波に耐え、子孫を増やそうと回遊してくる寒鱈。たっぷり脂をたくわえ丸々と太った鱈を、余すところ無く味噌仕立ての鍋にして頂く。体の芯から温まる豪快な料理です。

長井市の財政も真冬の厳しさの中にあります。一切の無駄を省きながら、すべての力を振り絞り、この困難に立ち向かってこそ「寒鱈」のように成長できると信じます。

年頭にあたり改めて身を引き締め議会活動に励んで参りますので、皆様のご協力をお願いいたします。

議会だより編集特別委員会



( 委員長 副委員長 )  
安部 隆 大沼 久 鈴木 悟司  
小関 勝助 我妻 昇 竹田 博一